

日中友好協会 八王子支部ニュース



みんなで参加・多彩な活動！ 広げよう・大きな“わ”！ 佐藤副支部長：FAX:042-645-8415

2022. 1. 22

中国はどこへいくのか

中国研究家

中国の今後の政治・経済、ウイグル問題、米中対立

佐久間徹氏

京王線沿線火事の影響で、講師の到着が1時間遅れるというハプニング。その時間も利用するのが八王子支部。16歳の会員さんから、中国お取り寄せという甘い飲み物がふるまわれ、心が和みました。

「731部隊・ヒロシマ・ナガサキ展」を12月に行った五井さんからのお話、日朝協会の方からの訴え、さらに講師に質問したいこと等が出され、待ち時間も有効活用されました。



そして待ちに待った講師の到着！！資料が配られ、あらかじめ出されていた質問に答えるという形で学習会がスタートしました。

ゼロコロナをとっていた中国が急にロックダウンを解除したのは、やはり国民のデモなどの意志表示であること、死者数など「人民日報」の報道は信用ならない、ウクライナ問題はロシア寄りをとっている、本音はアメリカが原因と考え、日米の大軍拡には反対している等の話から、「中国のめざしているところ」に話が入っていきました。

(1) 今後の中国の政治

20全大会の特徴として、マルクス主義を強調したが、中国共産党はマルクス主義とは全く無縁。マルクス主義はヒューマニズムの最高の形態であるが、中国の現状をみると、私有企業が86.5%を占め、就業者数は労働者の65.5%、営業収入はなんと91.62%を占めている。習近平体制が2032年まで続きさらに一党独裁が進むと予測。

(2) 今後の中国経済

現在中国では急速に人口が減少、高齢化が進行している。(中国の人口世界1がインドにぬかれるというニュースが話題になっています) 貧富の差が拡大し、女性が結婚したらない。軍事費・治安維持費が増大している。(これらは新たな価値を生まないという説明に納得しました) さらに貯蓄志向が強まっている。(これは政府が信用できないから、という説明にも納得)



(3) 新疆ウイグル自治区での人権侵害

128万人を超える人が収容され、中華民族に同化させられる教育がされ、拷問される。漢語が強制され、イスラームの中国化が進められている。

(これについては以前テレビで報道されているのを見たのですが、事実と知り驚きました)

(4) 米中対立

アメリカは中国の科学技術水準を注視している。AIの論文数もスパコンの性能も世界1位は中国。米国は中国との全面的な経済戦争を昨年開始し、中国向けの半導体輸出規制を始めた。これは日本にも要請している。

中国の弱点は「学問の自由が無い」ことであり、これからの成長が望めるか疑問。

(5) 今後の日中友好

日中友好の相手は中国共産党ではなく、中国国民である。中国国民はロシアのウクライナ侵略は国連憲章や国際法上に反すると過半数が回答。また台湾海峡での軍事紛争については、中国国民の1/3が起こらないと回答。武力解放も辞さないという共産党と違う意見。(「台湾有事」と軍拡を進める岸田政権には私たちの活動が大事)

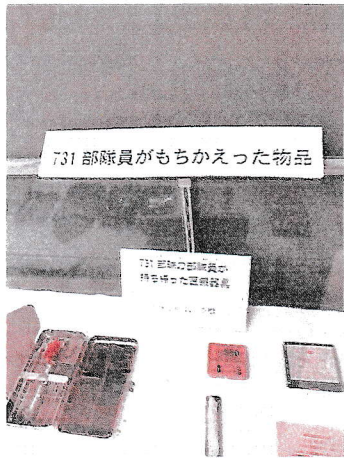
学習会時間は短かったのですが、講師の佐久間氏の語りたいたい思いが伝わってくる学習会でした。なにより、私たちの友好相手が中国国民であること、「中国では」と報道されていることと大部分の国民が考えていることが違うということがわかり、目の前が明るくなる思いがしました。

(加藤記)

「731部隊」覚え書き⑥

五井 信治

飯田市「平和祈念館を考える会 結成集会」に参加して



今、長野県の飯田市の平和祈念館の展示の仕方が問題になっています。

飯田駅前にある「丘の上結いスクエア」の3階の一角に昨年5月にオープンした「飯田市平和祈念館」には、元731部隊員が寄贈した、手術道具や医学書、隊員名簿などが展示されていますが、その説明はなく、ただ「731部隊員がもちかえった物品」としか書いてありません。

祈念館開館に長年協力し携わっていた資料収集委員の人たちも、市の対応に、開館当初から異議を唱え、用意していた731部隊の説明や、元隊員の4人の証言パネルの展示などをするようにと要求を出してきました。

市側は理由として、2003年の小泉純一郎首相(当時)の「(細菌戦を行ったと示す資料は)現時点では確認されていない」という国会答弁を引用し、「公の施設での展示は難しい」としています。

その展示の仕方に対し、地元の市民や団体、県外からも「戦争と医学医療研究会」や「731ネットワーク」・「ABC企画委員会」などから抗議の声が上がり、市側は、「市平和祈念館展示・活用検討委員会」を発足して検討を始めるとしています。そういう動きに対応して、今回「祈念館を考える 結成集会」が1月29日(日)に、飯田市の鼎文化センターでありました。この問題には、多くの方が関心を示し、県内外から140名の参加があり、多くのマスコミ関係者も取材に来ていました。



施設の破壊、素早い撤退、アメリカとの取引(データ引渡しと731部隊員全員の戦犯免責)、帝銀事件でGHQが731部隊員への警察の捜査をストップさせたことなどを紹介しました。

隊員に対して「口外するな」という石井四郎の命令を象徴するような、地元千葉県山武郡芝山町の春日神社に1957年に建立した石井四郎揮毫の忠魂碑の写真、原爆調査での被爆者を置き去りにした原爆の威力調査、ビキニ水爆実験で被ばく船を第5福竜丸1隻にして、他の被ばく船の補償をしていないこと、そして、今高知と東京でその裁判が行われていることなども話しました。

一方「日本医学百年史」や自衛隊の極秘文書には、人体実験や細菌製造のことが記述されていること、また、90年代から始まった歴史事実改ざんの動き、京大の人体実験が疑われる731部隊員の論文審査をしないという動き、反面日本医学会での昨年の120周年事業では、きちんと731部隊の事を取り上げ反省していることなどをスライドで紹介しました。

最後に、水爆実験が行われた50年代に亀井文雄監督が作った映画「世界は恐怖する」のなかで、ビキニ水爆実験時、アメリカ側に協力した元731部隊レントゲン班班長宮川正が関与している、ジュウシマツに放射線をあてて、死んでゆく様子を映した部分、昨年の日本医学会120周年ビデオでの門脇日本医学会副会長の731部隊の人体実験に関する発言、最後に731部隊員が、戦後、軍歴を隠し通したために、軍人恩給ももらえずに生活に困窮しながら生きていた事実などの映像を紹介しました。

多くの方が、この731部隊のやった加害の事実に関心を持ち、今後、世界で731部隊で行ったことと同じ様なことが2度と起こることのないように、また日本が戦争への道に進まないようにするためにも、飯田市平和祈念館に731部隊の展示がきちんとされることは、大きな力を発揮するものと思います。





趙雲を呼んで劉備を紹介した。劉備は趙雲に会うと、非常に気に入って、別れがたい気持ちになった。(三国志演義連環図より)

(埼玉県熊谷市けやき総合法律事務所)

この磐河の戦において、劉備と趙雲は互いに面識を持つにいたるのが三国志演義のストーリーである。趙雲は、その後劉備軍の中核として活躍し、特に関羽や張飛が没した後は蜀軍にあつて中心的な活躍を見せることになる。

袁紹と公孫瓚の磐河を挟んでの対決は1か月たつても決着が付かなかった。両軍ともに多大の犠牲を出し、軍は厭戦気分が高まっていた。ところ変わって、董卓が新たに都と定めた長安では董卓が相国と称し、権勢を思うままに奮っていた。そこへも公孫瓚と袁紹の激突の知らせは舞い込んでいた。董卓は、かつて自らを討つために結んでいた両軍が戦い、お互いに疲弊することを期待した。参謀の李儒は、決着が付けば、一方は更なる力を得、後日、董卓の脅威となりかねないことを指摘した。

そこで、李儒は一計を案じ、天子の詔と称し、両軍に和睦を持ち掛け、両軍に恩を売ることを思いついたのであった。董卓は当初この案に乗り気ではなかったが、しばらく思案して、李儒の策を採用した。果たして、袁紹と公孫瓚は天子の詔に従い、和睦をするのであった。

2023.1.12

創価大学中国研究会と交流

日中友好協会で中国百科検定を担当している慶応大学・大西先生の紹介で、1月12日、検定委員の多摩支部・天広さんと一緒に、創価大学を訪問し、中国研究会のみなさんと懇談しました。

中国研究会の庶務Gさんは、既に検定2級に合格しているとのこと、ゆくゆくは創価大で百科検定準会場を引き受けてもらえないだろうかと説明・宣伝に行ったわけです。

私の役目は、地元八王子で、互いに交流を持ちたいと伝えること。日中の平和、文化の交流という点で目的は一致するはず、学生さんも真剣に話を聞いてくれました。その後、“春節の会”の案内を送ったところ、3人参加したいと連絡がありました。

交流の中で学生さんが興味を示したのは、こちらで用意した、省名(行政区)を一字で表す漢字が使われている、中国の車のナンバープレートの写真でした。北京→京 天津→津 は想像がつくし、

山西→晋 湖南→湘 はなるほどと思います。しかし、上海→沪 重慶→渝 はわからない!……こうした話をするのも楽しかったです。

今後、どのような形で交流を進め、継続することができるか、互いに模索していきたいと思います。(芝沼・記)



山越拓児さんの
世相を映す替え歌②

「9条とともに」

～「俱(とも)に」(中島みゆき)



♪戦争のない日本を
みんな願っている
怖いのは アメリカの
起こす戦争に巻き込まれること
敵の基地をたたく 能力を持つという
大軍拡 憲法違反
平和と暮らしを壊してく
安法制 発動して
先制攻撃 報復を呼び込む

♪トマホークいららない
大軍拡いららない
手を出さず こまねいて
なんにもしないわけではない
カギは外交交渉 対話と協調
話し合い繰り返し
遠い遠い距離を詰めていく
東アジアの 全体を
僕たちは 全力で包摂する

♪安保政策 大転換
解散して 国民の信を問え
ともにくいとめよう
ともにやめさせよう
空前の大軍拡・大増税
消えるまできっちり
たたかっていこう

ともにくいとめよう
ともにやめさせよう
キシダ自公政権の
大軍拡・大増税を
ともに守りぬこう
ともに活かしていこう
日本国憲法9条
戦争を捨てた先駆けを

ともに手を繋ごう
ともに力合わそう
どんなに意見が違って
戦争だけは許さない
ともに守りぬこう
ともに活かしていこう
日本国憲法9条
戦争を捨てた先駆けを

ともに守りぬこう
ともに活かしていこう
日本国憲法9条
戦争を捨てた先駆けを
日本国憲法9条
世界に誇る宝物



核兵器禁止条約に
日本も参加しよう!

原発再稼働
新設絶対ダメ!

敵基地攻撃
(反撃能力)は
戦争をしかけること!

軍拡より
攻められない
外交を!

だれも
憲法変えるの
望んでない!

軍事費2倍は
くらしを壊す!

第91回

NO WAR! 八王子アクション

2023年2月19日 10:30～ JR八王子駅北口

《日中友好協会八王子支部日程》

2月11日(土) 理事会&春節の会 (長房ふれあい館)

3月19日(日) 理事会

映画会「再会の食卓」 (アミダステーション2階)

4月5日(日) 観桜会 (聖蹟桜ヶ丘 拓魂碑・桜が丘公園)

八王子支部ホームページ <https://nittyuyukohachioji.web.fc2.com/>



再会の食卓

中国と台湾の歴史に翻弄(ほんろう)された元夫婦の悲喜こもごもを描き、家族とはどうあるべきかを問い掛ける人間ドラマ。(2010制作)

監督: 王全安

キャスト: リサ・ルー、リン・フォン

3月19日(日) 13:30～
アミダステーション2階

資料代 500円

日中友好新聞は、東北アジアの平和に役立つ確かな情報と中国の文化・歴史の豊かな情報を持つ、月2回発行のタブロイド判8Pの新聞です。嫌・反中報道が溢れる中、公正・中立な報道をしています。ぜひご購入下さい。

1ヶ月550円(送料込み) 購読申込 042-645-8411:佐藤